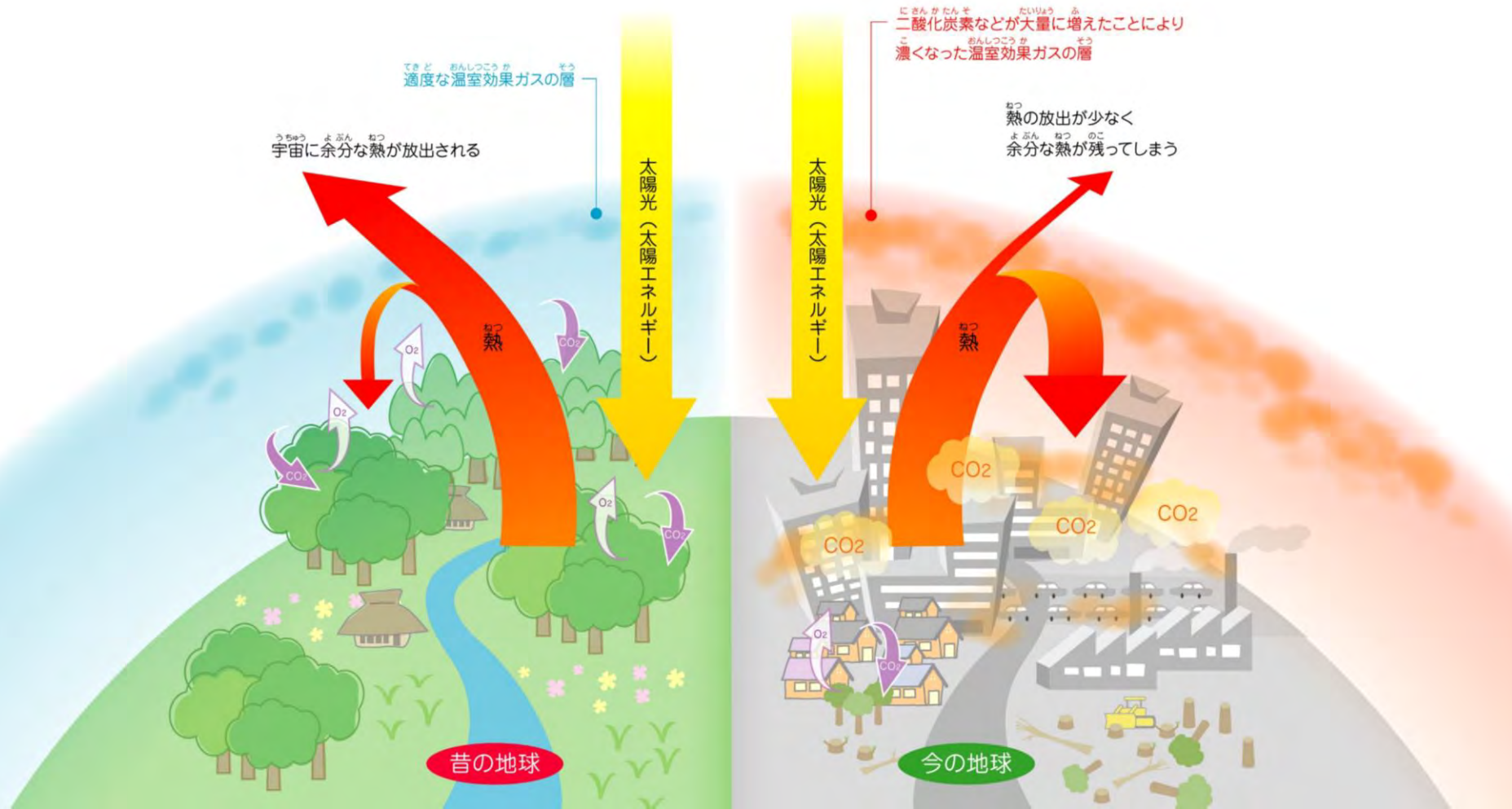


趣旨説明



小諸市ゼロカーボンシティの実現に向けた基本協定

➤ 目的（趣旨）

「小諸市気候非常事態宣言」を受け、関係七者が相互に連携協力を図り、様々な地球温暖化対策の取組を円滑で効果的に推進することにより、小諸市におけるゼロカーボンシティの実現（2050年二酸化炭素排出実質ゼロ）に寄与するため、協定を締結するもの。

→**当面、共同提案による環境省「脱炭素先行地域」への応募を目指す**

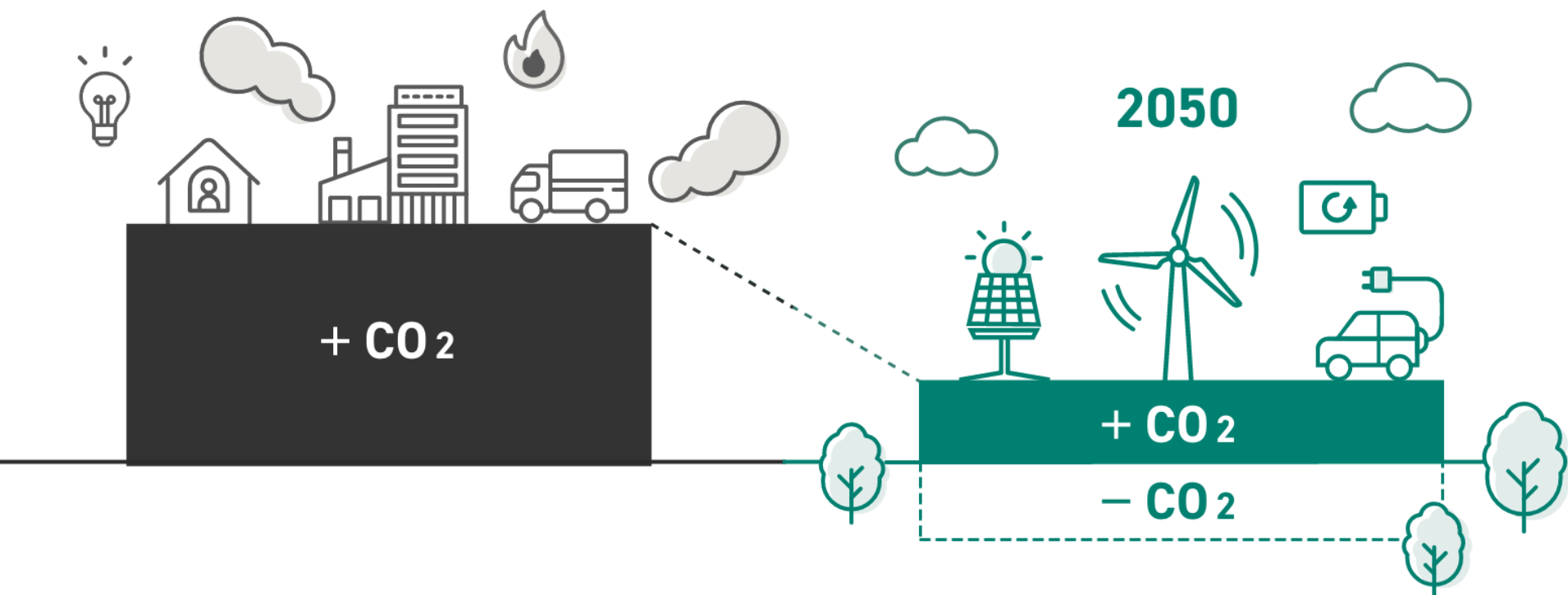
➤ 関係七者

- ① 小諸市
- ② 信州大学工学部
- ③ 株式会社シーエナジー
- ④ 株式会社石本建築事務所
- ⑤ 長野県厚生農業協同組合連合会浅間南麓こもろ医療センター
- ⑥ 独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部
- ⑦ 株式会社URリンケージ

国の動き①

【2020年10月】

政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、**カーボンニュートラル**を目指すことを宣言



国の動き②

カーボンニュートラル実現に向けて・・・

「脱炭素ドミノ」で重点対策を全国に伝搬

【2022年4月】第1回選定委地域選定（26件）

【2022年11月】第2回選定委地域選定（20件）

2020

2025

2030

2050

＼5年間の集中期間に政策総動員／

MISSION (1)

100ヶ所以上の
脱炭素先行地域を創出

MISSION (2)

重点対策を全国津々浦々で実施

全国で多くの
脱炭素ドミノ



＼2050年を待たずに／

脱炭素で
強靱な活力ある
地域社会を全国で実現



基盤的施策

小諸市の動き

【2020年10月】

市長が小諸市気候非常事態を宣言

→2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す

【2022年 5 月】 小諸市ゼロカーボン戦略推進本部を設置

【2022年 8 月】 推進本部会議で以下を決定

○中長期目標

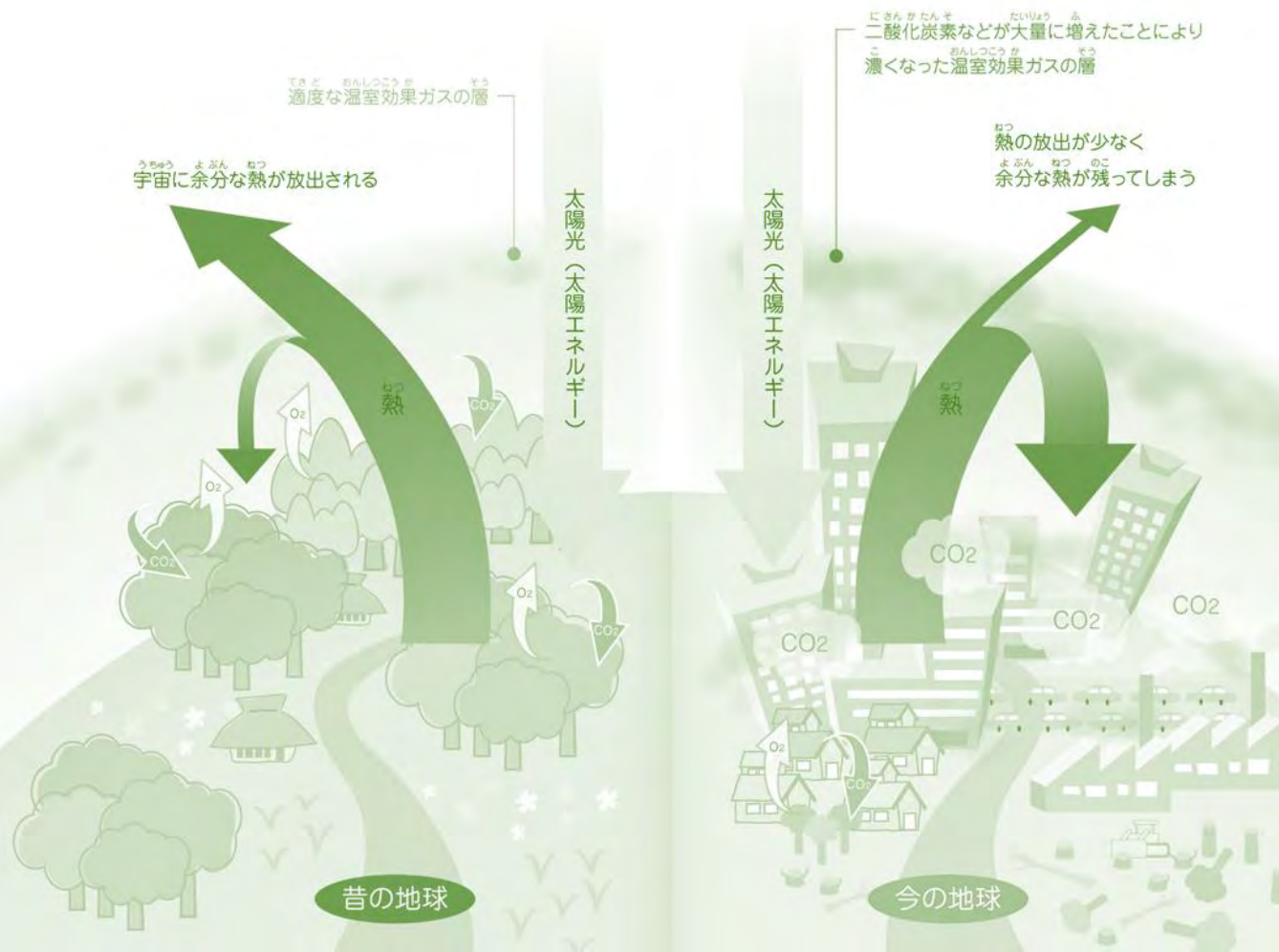
→2010年比で2030年50%減

→2050年ゼロカーボン

○脱炭素先行地域への応募を目指す

→**これまでの取組みを発展させた事業スキーム**

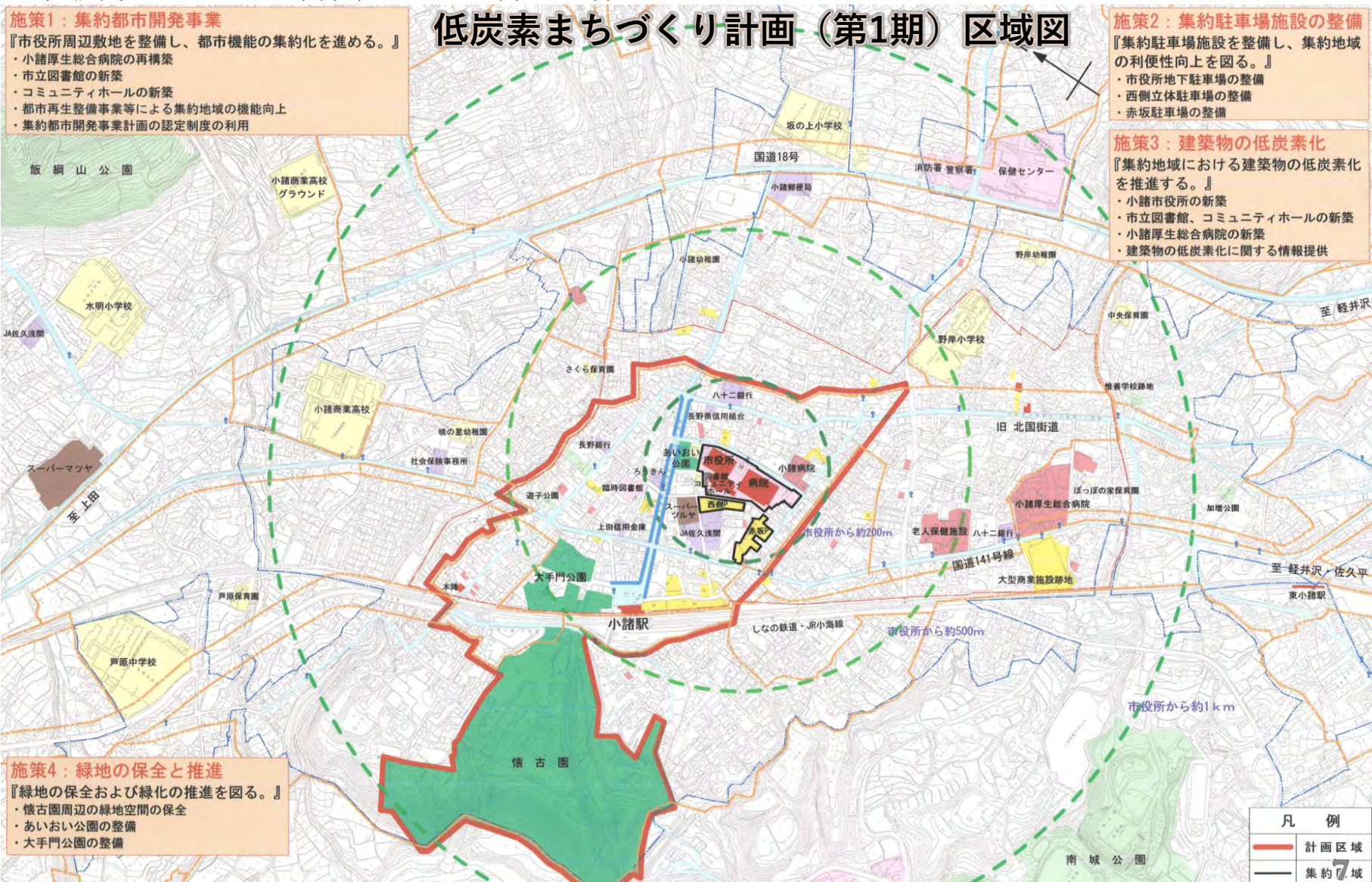
これまでの取組み



これまでの取り組み

都市機能の集約化によるエネルギーの面的利用

ー低炭素まちづくり計画に基づく官民一体プロジェクトー



建築概要

浅間南麓こもろ医療センター

延床面積：21,102㎡（246床）

階数：地上6階、地下1階

竣工：平成29（2017）年9月

小諸市庁舎・こもろプラザ

延床面積：19,945㎡

階数：地上4階、地下2階

竣工：平成27（2015）年7月



建築設備イメージ

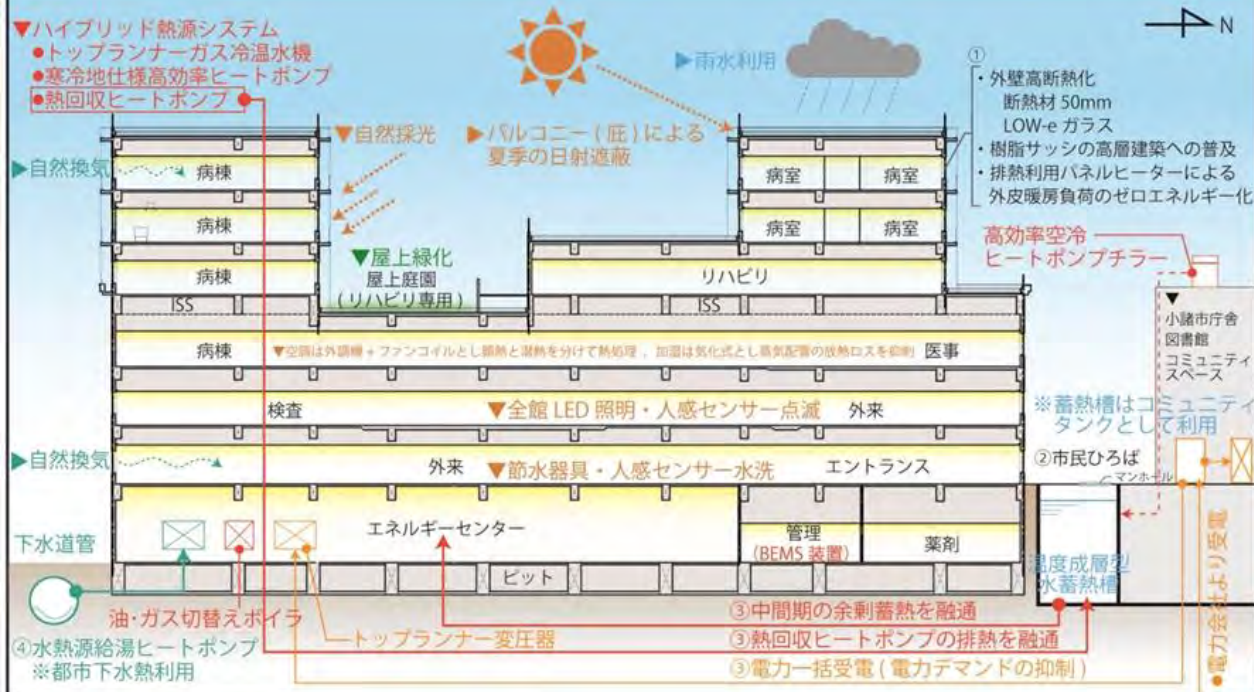
- ☐ Low-E複層ガラス
- ☐ 複層ガラス
- ☐ 屋上緑化
- ☐ 庇・高断熱

- ☐ 全熱交換器
(バイパス制御)
- ☐ 人感・CO₂・CO
センサー制御
- ☐ 中間期の外気冷房
- ☐ 自然換気システム



▼ハイブリッド熱源システム

- トッランナーガス冷温水機
- 寒冷地仕様高効率ヒートポンプ
- 熱回収ヒートポンプ



高効率ヒートポンプ
+温度成層型水蓄熱槽
(温度差)
高効率空調機
センサー付
寒冷地仕様(EHP)

高効率統合熱源システム
(ご当地の蓄熱槽利用)

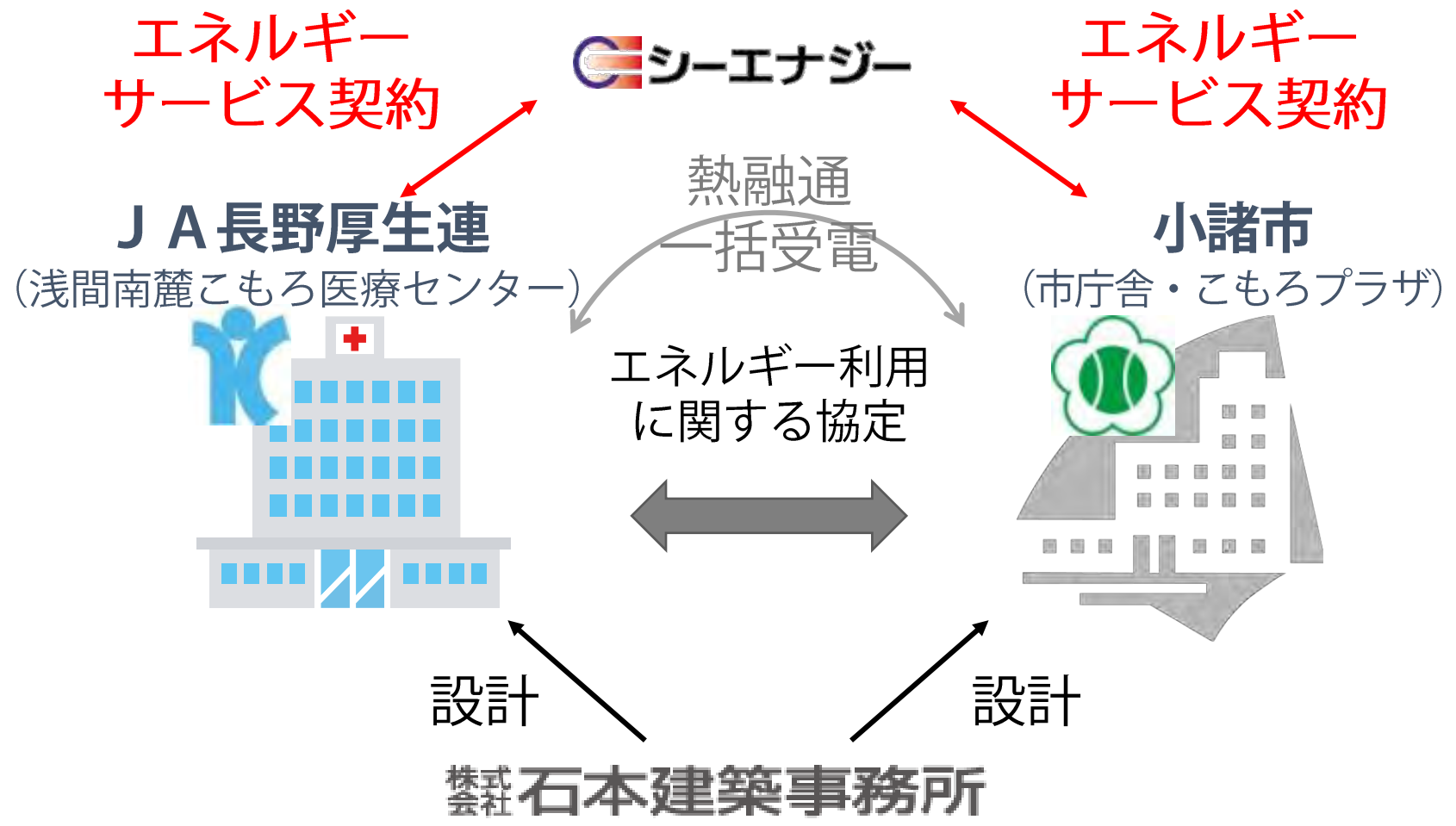
余剰エネルギー
相互利用(将来)

□厚生病院排熱利用
病院→市庁舎等
□蓄熱槽冷温水融通
市庁舎→病院



官民連携による面的エネルギー利用（エネルギーサービス事業の導入）

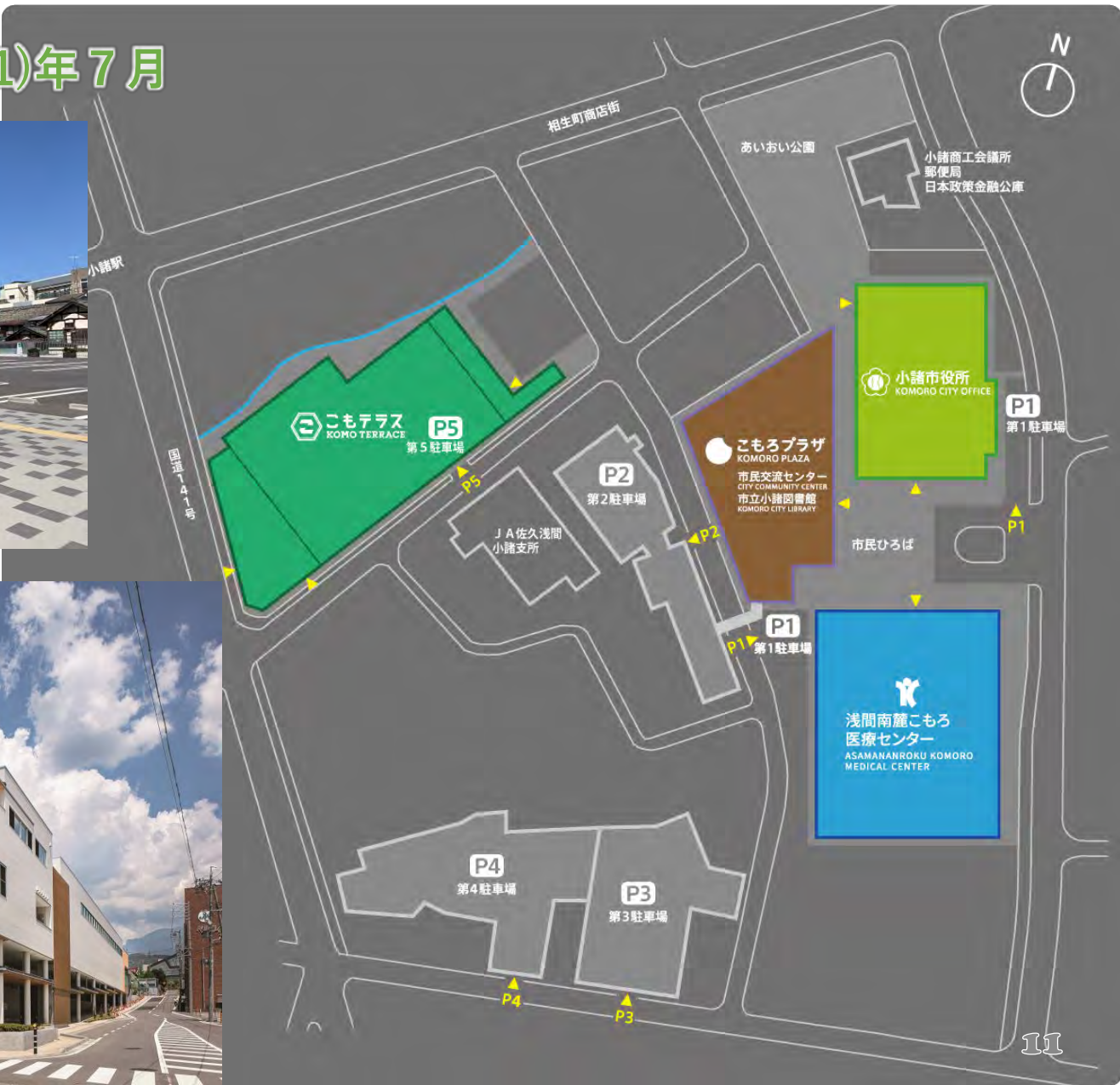
専門業者が両施設のエネルギー供給設備を建設・所有し一体的に運用・維持管理



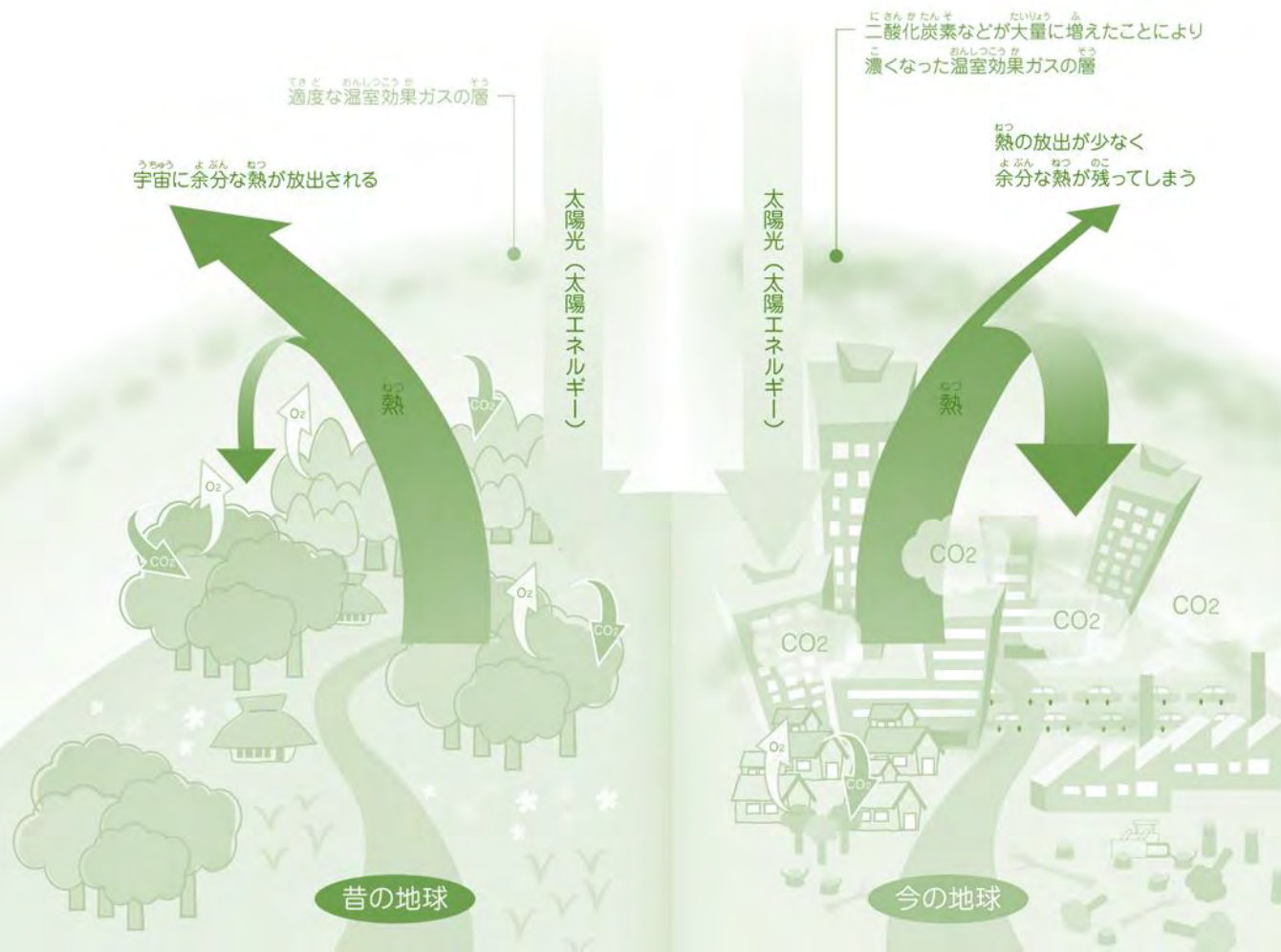
これまでの取組み

こもテラス

竣工：令和3(2021)年7月

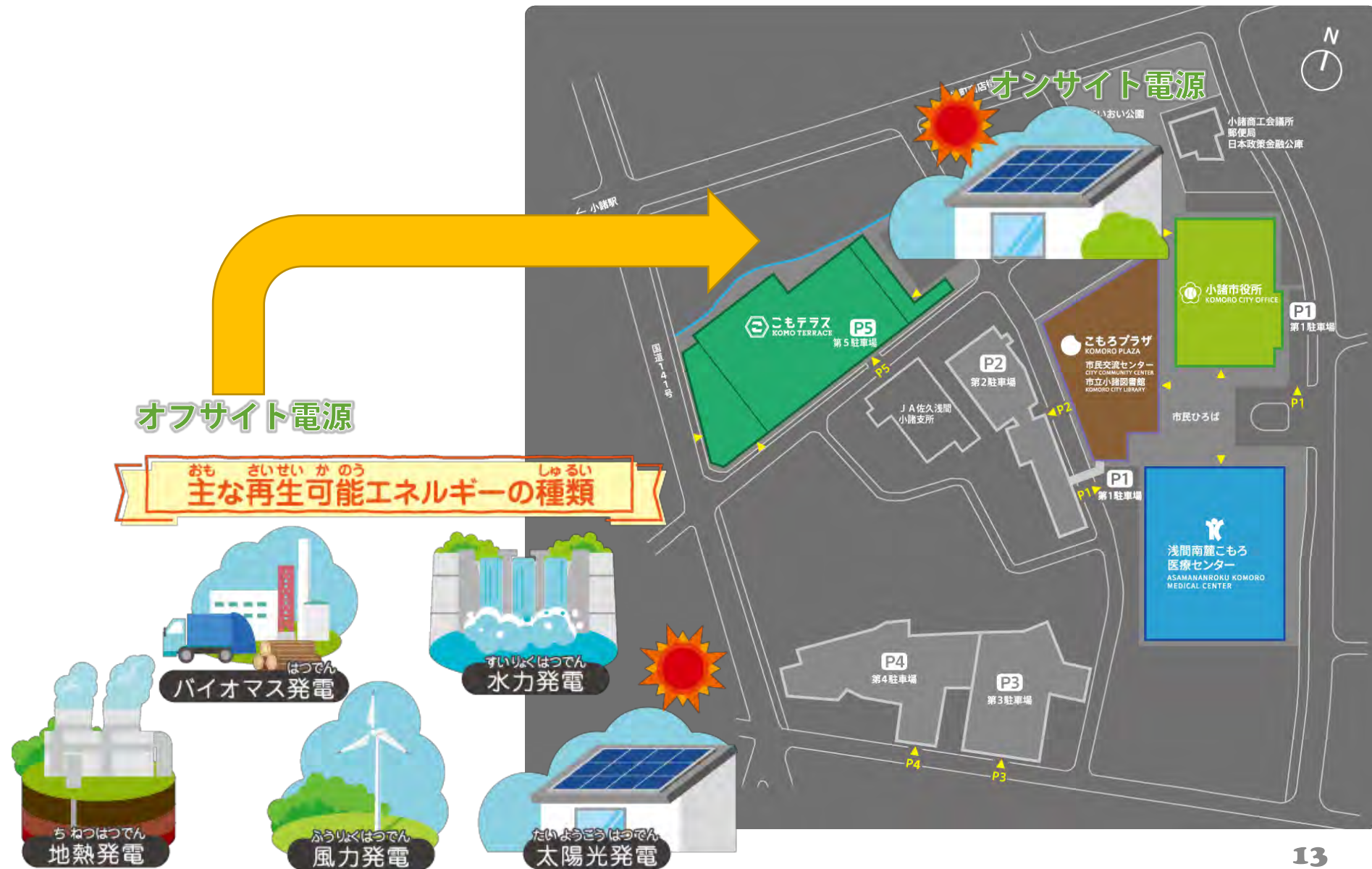


脱炭素先行地域を目指す取組み (現在検討中のもの)



脱炭素先行地域を目指す取組み①

E S 事業の拡張による市役所周辺施設の脱炭素化



公共交通ネットワークのEV化と再エネ電力の利用



小諸の新しい
まち巡りのカタチです。



信州・小諸駅

懐かし

自分だけ

を発見しよう！



バイオマス発電



すいりくはつてん
水力発電



たいようこうはつでん
太陽光発電

ふうりくはつてん
同 士 野 雲

料金や乗車方法など詳しくは裏面へ

脱炭素先行地域を目指す取組み③

小諸市の強みを活かした多様な再生可能エネルギーの導入

区分	内 容	袋・梱包方法	注意してほしいこと
生ごみ	料理くず 魚くず 漬物、ぬか、味噌 果物くず 野菜くず 卵・貝がら等 ビニールなどが混じると肥料として利用できなくなるばかりでなく処理機械の故障にもつながります。	市指定紙袋 生ごみ(大) 小諸太郎 1.5g 必ず記名してください。	●水をよくきって新聞紙に包んでから指定袋へ入れてください。 ※レジ袋などで二重にしないでください。 ●紙ひもで、しばって出してください。 ●生ごみを自宅の庭や畑などで処理する場合は、近所の方の迷惑にならないように動物や臭気にご注意してください。



小諸市ゼロカーボンシティの実現に向けた実施体制

関係者間で『小諸市ゼロカーボンシティの実現に向けた基本協定』を締結しプロジェクトを進める

技術支援

信州大学

石本建築設計事務所

UR都市機構

コアメンバー

小諸市

URリンケージ
(計画策定)

シーエナジー
(E S 事業者)

関連施設事業者

こもろ医療センター

当面、共同提案による「脱炭素先行地域」への応募を目指す